

事業者向 放課後等デイサービス自己評価表

コロロ杉並少年隊

令和4年(2022年)1月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	100%	0	0	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	40%	60%	・日頃から動線には気を付け、衝突・転倒には常に注意をしている。 ・バランスの悪いお子さんや、てんかん発作のあるお子さんには、階段ではスタッフがついて移動している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0	0	・業務に対して、どのように進めるかを話し合い、進めている。また半期に一度、自己評価と考課面接を行い、運営面に対しても意見を出す機会を設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0	0	・アンケートのみではなく、日頃から、送迎時の話や連絡帳を通して、親御さんから、ご意見など伺っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%	0	・コロロのHPと教室の閲覧コーナーで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	80%	0	20%	・今のところ、第三者評価は取り入れていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0	0	・定期的に必要とされるテーマで研修をするとともに、問題があったときは申し送りの場で情報周知、改善案を話し合っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0	0	・保護者からのニーズも把握しながら、その時に必要な力を育てるプログラムを立てて、こちらから保護者に提示して、お話をしている。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0	0	・コロロメソッドを軸に行っているため、スタッフの意識統一、技術の均一化は概ね図れている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0	0	・利用するメンバーに応じて、チームで検討し、日案を立てて活動にあたっている。また、子どもの状況に応じては、即時プログラムを立て、チームで子どもの状態を良くするよう努めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0	0	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0	0	・土日、祝日は長い療育時間を利用し、長距離歩行を取り入れている。平日はコロロメソッドのデイリープログラム(基本プログラム)とボール等の運動課題に取り組むなど、それぞれにプログラムの特徴がある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0	0	・集団活動で適応力を養う目標と、個別の技能を高めるための目標を入れるようにすることで、「いつでもどこでもだれとでも」過ごせる力を育てる計画を作成している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0	0	・事前に計画を立て、役職者等に指導・承認を受ける。当日も、内容や役割分担は事前に打ち合わせを行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0	0	・職員間で振り返りをし、日誌に子どもの状態を記入し、共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0	0	・日誌を毎日必ず記入し、支援内容を見直せるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0	0	・半年ごとに、実施。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%	0	0	・自立・日常生活動作獲得への支援、創作活動、余暇は、実施しているが、地域交流の機会は、少ない。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0	0	コロナ禍により対面での会議や訪問が難しくなった。電話でのやりとりが増えたが、児発管が対応し、密な情報共有に努め、それを現場スタッフへ周知している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	80%	20%	0	・送迎サービスがなく、親御さんによる送迎なので、学校と情報共有をすることはほとんどない。しかし、このコロナ禍で一部の学校からは、感染症に関わる情報を配信してもらっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	100%	0	・特別な医療的ケアが必要な児童はいない。てんかん発作のある児童の場合、発作時は、保護者に連絡し、指示を仰ぐなど対策ルートは出来ている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	20%	0	・事業所からの情報提供は頂くことはないが、保護者から情報を頂いている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0	0	・問い合わせや相談がある場合は、情報提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%	0	20%	・今のところ助言を受けるケースはない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	80%	20%	・ほとんどない ・本部主催のダイナミックリズムの行事は交流に機会になっている。コロナ禍で行う回数は少なかった。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	80%	20%	・区主催の協議会には参加をしていく方針。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0	0	・日頃、親御さんの質問は、連絡帳や送迎時の立ち話、またメールや電話で回答するなど、出来るだけ早く対応している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%	0	0	・親の勉強会を実施している。 ・今年度はコロナ禍が原因で、親子トレーニングの支援を行なうのが難しかった。
	保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0	0

護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0	0	・日頃、親御さんの質問は、連絡帳や送迎時の立ち話、またメールや電話で回答するなど、出来るだけ早く対応している。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	40%	60%	・保護者からは、必要がないとの声が多い。先輩お母さんの体験談を聞きたいという声は多いため、勉強会の企画にてその機会を設けることもある。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0	0	・苦情等があった場合は、すぐに役職者に報告し、早期に対処するよう努めている。日誌に記入するとともに、報告書を作成し、スタッフ全員で内容を共有している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%	0	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	100%	0	0	・年賀状の張り出しには住所を伏せるなど、掲示物にも配慮をしている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0	0	・話ことばだけによる情報伝達はうまく伝わらないこともあるので、連絡帳に記入、お便りやメールなど、端的に文字化するようにしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	100%	0	・親御さんからは必要性を感じないとの声が多いが、検討の必要性を感じている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%	0	・緊急時対応マニュアル・感染症マニュアル、虐待防止マニュアルは策定し、職員には周知している。防犯に関しては、本部と検討中。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0	0	・半年に一度、定期的に避難訓練を実施している。所轄の消防署にも届出をして行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0	0	・本部が主催する人権研修に参加している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	20%	60%	20%	・必要性が生じた場合、または、家族からの要請があった場合は、組織的に決定し、本部の定めた手順に則り、進めていくこととする。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0	0	・保護者からの指示により対応している。昼食はすべて家庭で用意していただいている。 ・おやつを食べる場合は、親御さんに事前に確認している。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0	0	・スタッフ全員で回覧し、情報共有している。	